



学校だより 1月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和2年1月7日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

明けまして おめでとうございます

校長 寺園 淳

令和2年がスタートしました。旧年中は保護者の皆様、地域の皆様に石川小学校の教育活動に対し、ご理解、ご協力をいただいたことを感謝申し上げます。学校教育目標の具現化を図るために石川小学校全職員で取り組んで参ります。本年も引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。一方で度重なる大きな自然災害に見舞われ、多くの方が被災し、今もなお不自由な生活を余儀なくされているかと思ひます。一日も早い復興をお祈りしております。

昨年の12月18日に、ラグビー元日本代表 廣瀬 俊朗さんがラグビー教室の講師として石川小にいらっしゃいました。ラグビーワールドカップが日本で開かれ、決勝戦が横浜で行われた年に、子どもたちにとって本物に触れる貴重な経験となりました。はじめに高学年の子どもを対象にお話をいただきました。野球やバスケット、サッカーなどを経験している子どもは多くいますが、ラグビーにも関心があるのかなと、私は少し心配してました。ところが廣瀬さんの話を聞くうちに、子どもたちがどんどん引き込まれていく姿を感じました。子どもとのやり取りを見ていると、一人ひとりを認めていく廣瀬さんの様子に誰もが安心してコミュニケーションをとっていることが伝わってきました。子どもたちに「夢をもつことの大切さ」をメッセージとしていただきました。また、廣瀬さんのお話から「One Teamは皆が一つの大きな夢をもち、仲間を信じることで創り上げることができる」と考えます。私たち教職員も一丸となって石川の子どもたちが夢をもち、友達とともに歩む学校づくりを進めていきます。

6年生においては、卒業に向けてのカウントダウンが始まります。常に全校の手本として、また、石川小学校の顔として活躍してきた6年生。小学校生活の仕上げをする中で、5年生へバトンをしっかりと引き継いでほしいと思ひます。5年生も、6年生の卒業を祝う取組のリーダーとして下級生をまとめ、計画を進めることを期待されます。一人ひとりが「次は自分が石川小学校をリードする。」という自覚をもって過ごしてほしいです。

今年の干支は「子」。その年の意味を調べてみると、中国の『漢書』律曆志によると、「子」は、繁殖する・うむという意味をもつ「孳」という字からきておており、新しい生命が種子の中にきざし始める状態を表しているのだそうです。子年だからこそ、何か新しいことに子どもたちが取り組めるとよいと思ひます。私も新学習指導要領が完全実施されるに当たり、新しい学校教育目標を創り上げたいと考えています。

今年度も残すところ3か月となります。学年末に向けて子どもたちがこれまでに身に付けてきた力を発揮し、成長の節目として迎えられるよう指導、支援を重ねてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

